

雨でも気持ち晴れやか

6 団体50人が出演

「^{ふえ}笛スティバル」にぎわう



軽快な音楽を奏でるOto_Toyのメンバー＝丹波篠山市宮田で



笛スティバルを楽しむ観客たち

丹波篠山市内の音楽愛好家が集い、演奏を繰り広げる「まちの笛(ふえ)スティバル」(同実行委員会主催)が5月25日、同市役所西紀支所の駐車場で開かれた。時折しぐれるあいにくの天候だっ

たが、来場者は6グループ(計約50人)が奏でるにぎやかな音楽に触れ、晴れやかな気持ちで演奏に聞き入っていた。フィナーレは、出演者全員による合同演奏で盛大に締めくくった。

—昨年から3度目の開催。中学校、高校の吹奏楽部や市民のサンサンブル、合唱グループなどが出演。ステージを2つ用意し、片方で演奏している間に、もう片方で準備を済ませ、演奏に間が空かない工夫をした。

篠山産業高校吹奏楽部は、演奏開始と同時に小

雨に見舞われたが、移動させたテントや、仲間らが差ししてくれる傘の下で懸命に演奏。人気アイドルグループ風の「Happiness」など明るく前向きなメロディーを4曲届け、観客を楽しませた。

「子育てママらでつくる「Oto_Toy」の8人は、トロンボーンやサクソ、フルートなどで、となりのトトロのテーマなどを軽快に吹き鳴らした。

イベントの締めくくりは出演者全員でYOASOBIの「ツバメ」を演奏。観客も一緒になって歌ったり、音楽に合わせて体を揺らしたりして、一体感を楽しんだ。

実行委員長の「さあ、あいにくの天気だったが、皆さんの協力で楽しい演奏会となった」と喜び、「来年は丹波南地区で開催できたら」と意欲を燃やしていた。

会場の周囲では、同校機械工学科がレーザー加工の技術を生かして制作したアクリル製の楽器キーホルダーを、篠山東雲高校が花苗や焼き菓子

を販売。あめ細工やケーキ、ベーグルの販売ブー

2025年6月1日
丹波新聞